



# 平等寺だより

## 92ケの元素

住職 丸子 孝法

年頭にあたり皆々様のご清福をご祈念申し上げます。

先般ノーベル物理学賞をいただかれた小柴昌俊先生は、世界ではじめてニュートリノ現象の観測に成功されました。先生の説によると、137億年の昔、ニュートリノ現象によってビックバンがおこり、一つの天体が大爆発をおこして、太陽をはじめとする地球や月、火星、水星、木星、金星、土星、多くの星ができたそうです。

しかも私達のこの地球には108の元素があり、108の元素があるために、92ケの元素をもつ人間という複雑な生物ができたというのです。私は、この小柴先生の説を知って驚きました。父と母の縁によつていのちを頂

発行

☎633-0001  
桜井市三輪38  
三輪山平等寺  
TEL/FAX  
0744-42-6895  
<http://www.byodoji.com/>



きましたが、私達は、地球の92ケの元素をいただいで生きているのです。

人間だけではなく、鳥も魚も動物も、いや植物も、いや流れる水や雲さえも、すべては、母なる地球の元素をいただき、父なる太陽

からの風につて運ばれてくる水素や熱や光に守られ

ささえられていたのです。

いきているということの

事実、私がいきているの

ではなく、100パーセント

「いのち」が「私を生きて

いる」「あなたを生きてい

る」ことなのです。

頭がいいとか悪いとか小さなことです。偉いも偉くないもないのです。「いのち」、その落ちつきどころに落ちつのが坐禅です。

それを、大安心（だいあんじん）というのです。

お釈迦さまは、お悟りを開かれた時に、「我と大地有情同時成道」（われとだいちうじょうどうじどうじょう）と真理をお説きになられました。「私も地球も同じのちであつた。すばらしい、すばらしい」とのべられたのです。愛する心とか、慈しむ心は、ここから発信される心なのです。

今もなお戦争が続き、差別がなくなりません。平等を説き、平和を願われたお釈迦さまの原点に帰る道を共に歩みましょう。今年もよろしくお願い致します。

昨年2月の「差別をなくす奈良県宗教者連帯会議」主催の桜植樹、6月の「曹洞宗奈良県宗務所」主催の人権学習、8月の空手道合宿で国立ハンセン病療養所長島愛生園に行きました。入所者の石田雅男さん、奥さんの懷子さん、広瀬哲夫さんにお世話になりました。今年も心の交流会をもつ予定です。参加されたい方は、副住職までご連絡ください。

## 長島愛生園と心の交流



## さつま芋が 教えてくれた

副住職 丸子 孝仁

十数年前まで、私にとつて「人権」は、数ある学習項目の中の一つにすぎませんでした。人権学習会に自ら足を運ぶこともなく、他人事のように「人権」から目をそらしていたと思います。ある日、私はいじめに遭いました。私はその時、自分自身が無力であることに絶望し、どうすることもできない苦しい立場が、この社会にあることを実感しました。それから十数年間は、もがき苦しむ自分自身が救われんがための、人権学習であったと思います。

岡山県の東部、日本のエーゲ海といわれる牛窓の近くに国立ハンセン病療養所「長島愛生園」があります。「差別をなくす奈良県宗教者連帯会議」主催の人権学習会をきっかけに石田雅男さんと奥さんの懐子さんとお付き合いをさせて頂くようになりました。

石田さんは10歳の時に

ハンセン病を患い、愛生園に連れてこられました。到着してから裸にされて番号札を持って写真撮影の後、10日間はクレゾールという消毒液のお風呂に入れられたそうです。まだ幼い石田さんは、

「殺れてしまうのでは・・・」と小さな身体が恐怖に震えました。まだハンセン病の薬が普及されていなかった時、1日1本と決められていた松ヤニのようなものが入った大きな注射を、早く家に帰って両親に会いたい思いから看護師さんをお願いして2本打たれました。異物が注入された腕やお尻は当然のように大きく腫れ上がりました。

入所して間もない頃、石田さんの大好きだった巻き寿司を持って両親が面会に来られました。石田さんが右手で巻き寿司を食べている間、左手に薩摩芋を握りしめている姿を見て、お父さんが不思議に思っていました。「雅男、そのさつま芋はどうしたんだ？」すると石田さんは、「これはボクの晩ご飯だ」と答えた

そうです。当時、愛生園では昼ご飯はじやが芋1個、晩ご飯はさつま芋1個の代用食の日々でしたので、その芋をその辺に置いたりしますと誰かに取られます。それで石田さんは、左手にさつま芋を握りしめていたのです。国の施設とは言いながら入所者の人達は、「お前



らは国家のごくつぶしだ、ざしき豚だ」と罵られ、友人でさえも、「このまま故郷にも帰れず、生きていても何の役にもたない、せめて魚のえさにもなれば」と海に投身自殺しました。また、結婚するにあたっては子供が生まれぬように断種手術をさせられ、もし生まれれば、その

場で殺されました。治らない病氣、伝染する怖い病氣、そして不浄で汚い患者として社会から排除され、徹底隔離のもとで非人道的な扱いをされながら、石田さんは何時死んでもいい、早く死にたいと望むようになり、自暴自棄の生き方をされていました。

それから年月が流れ、やっと社会的にも、ハンセン病が感染力の非常に弱い病気で、まずうつることもなく、プロミンという薬で100%治るということが認識されるようになり外出も自由に出来るようになりましたが、お父さんはすでに亡くなられ、お母さんが大阪で暮らしていることを知り、会いに行かれました。その時に、こういう話を聞いたのです。「雅男、私達が前に行った時、お前は夢中で巻き寿司を食べながら大事そうにさつま芋を持っていた。あれから父さんは、『わしらの食っているのに、わしら

も食事を変えんといかん』そう言うって芋を長い間、飯の代わりに食べたんですよ」

石田さんは大きなショックを覚えました。どうしてこんな人間に生まれてきたのか、親を怨み、世の中を怨んで投げやりのような生き方しかできなかったが、私のことをこんなに思い、愛して見守ってくれた父がいた、そして母がいる・・・。石田さんはじんと胸が熱くなると同時に今までの生きざまの何と愚かなことかと、反省すると共に亡き父に頭を下げました。そしてこれからは、一生懸命に生きなければいけないと誓われました。

人と人との絆が人権であります。私は石田さんから目には見えないところにも絆があることを教わりました。因縁に恵まれて生かされ生きている私達が、目には見えない心の絆を見失ったとき、悩み苦しみをつくり出しているのではないのでしょうか。心の絆が見えたと、人は生きがいと幸福を見出せるのです。



## 護持会だより

## 平等寺と私

後岡 敬太郎



私も後岡家のルーツは、吉野郡の奥地で大和よりむしろ熊野に近い山間へき地です。私の先々が明治中頃代を継いで一に医家の道ではなく、当時、全く新しい職業の薬学の道を求めて上京し、薬剤師免許を取得して、明治末期に当地桜井で薬局を開業しました。それから約100年を経たある日のこと、私共の薬局に一人の修行僧が現われました。

この僧こそ丸子孝法師だったのです。吉野の奥地に托鉢修行の折に「後岡」という珍しい名字をご覧になり、お訪ねいただきました。以来、親しくおつきあいをさせていただくことになりました。

した。その後、この仏縁をいただいたことから檀家に加えていただきました。先代が檀家総代を仰せつかり、没後、不肖私が引きつがせていただいています。母も梅花講の一員として日々ご詠歌の研鑽につとめております。又、私の所属する桜井ライオンズクラブの例会として体験坐禅のご指導をいただいたりとか何かとお世話になっております。今後の私の課題は大本山永平寺の受戒をうけさせていただくことですが、日々の業務と雑用に追われなかなか実行できずにあります。必ずや近い内に実現したいものと思いつつ日々を送っています。 合掌

## 梅花講だより

## 奈良県奉詠大会に参加して

岡本 澄子

私が、御詠歌を習い始めて、約数年になります。平等寺御住職丸子孝法様より、手解きをお受けして、初めは、こんな難しい御詠歌お唱え出来るかしらと、大変

心配したものでしたが、練習を重ねるに従って御詠歌の良さも難しさも、少しずつですが解って参りました。毎月、観音様の日(18日)に平等寺の梅花講で、奥様指導で皆様と和気あいあい楽しく練習をしています。



毎年一回、奈良県奉詠大会が、開催されます。去る10月30日、川上村山ぶきホールで開催され、参加して参りました。毎回、緊張の連続で、練習の成果は十分に発揮出来ませんでした。が、頑張つて発表いたしました。他の梅花講の皆様の立派な発表を拝見し、私は、もっ

ともっと練習を積まなければと、痛感いたしました。発表会があるからこそ、それに向って一生懸命練習をし、頑張れると思います。これからは益々精進し、御詠歌を、より深めたいと思います。

## 梅花講員募集

後になりましたが、平等寺様、護持会様より梅花講に對しまして御支援いただいております事、厚く御礼申し上げます。

毎月18日の午後1時から本堂で楽しく稽古しています。ぜひ、ご参加ください。

## 永平寺の授戒会に参加して

S・I

道元さまが大好きで、授戒会はい縁ではないかと何度も考え、方丈さまに相談して参加致しました。大本山永平寺に上山すると、全国のご住職様をはじめ老若男女の方々が、宗派にとわかれず参加されておられました。中には何十回も参加されておられる方もいらつ

## 親子で首座寮

最後に、多くの方々のお陰で無事に授戒会を終えることが出来ました。ありがとうございました。 合掌

東吉野村の宝泉寺様で晋山結制がありました。孝仁副住職が書記で長男竜輝が弁事という、親子で首座寮の配役をいただきました。法戦式では竜輝が大きな声で堂々と問答をしました。



## 第32回緑蔭禅の集い

昨年は奈良県各地から33名の小中学生が参加しました。平等寺からは、辰斗くん、竜也くん、竜輝の3名が参加しました。会場は京都の興聖寺様。一泊二日で3回の坐禅がありました。皆、しっかりと坐っていました。万福寺様、黄檗公園プールへも行きました。来年は7月21、22日で開催予定です。ぜひ、参加してください。



## お知らせ

交差点の看板を新しくしました。お墓のすぐ近くに水場を設置しました。



## 長島愛生園桜植樹

26教団2千法人が加盟する「差別をなくす奈良県宗教者連帯会議」では、昨年2月に桜を植樹することを通して、入所されている方々と交流をしました。3mの桜、紅葉、松を77本植樹しました。



今年も2月に、金峯山寺様から寄贈いただいた桜を植樹する予定です。

## ご報告

## 結婚しました

丸子 慶仁

平等寺の四男の丸子慶仁です。いつも皆様にお世話になり感謝申し上げます。昨年の5月10日に結婚させていただきました。これまでとお伝えします。まだ半人前でありながら今、幸せに結婚生活を送っていますのは、いろんな方々

の支えがあるからです。これまで僕を育ててくださった方々に感謝しています。産まれるまで僕の父母を守り僕の命をこの世まで繋いでくださった御先祖様、支えてくださった方々に感謝をします。全ての人、全ての生き物、全ての物に守ってもらい自分が生かされていることに感謝をし、これからは後悔のない人生を歩むことを念頭におきます。何事も合掌し生きていく楽しさ、尊厳を尊重し、かみしめて人生を歩んでいきます。結婚して一番嬉しかったことは「今が怖いくらいに幸せ」と嫁に言ってもらえたことです。それを聞いて「本当にありがたいな」と思いました。しっかりと頑張っていこうと改めて心に誓いをたてました。



合掌

## 年間行事予定

【一月】一〜三日 修正会

十一日 十二時 昼食

十三時 初護摩会

【二月】三日 十時 星祭会

十五日 七時 涅槃会

【三月】二十一日 十四時 彼岸会

【四月】四日 十時 大護摩会

(花祭り降誕会)

「ちこおねり」募集

【五月】三日 三輪の市

【七月】上旬 本山研修会

十二日 作務の日

下旬 子供坐禅の集い

【八月】一日 九時半 最勝会

十三時 親子坐禅会

二十三日 十三時 地藏会

【九月】二十三日 十四時 彼岸会

【十月】下旬 梅花大会

【十二月】一〜八日 朝六時

撰心会並びに成道会

上旬 歳末托鉢行

二十一日 十四時 終護摩会

三十一日 除夜の鐘

## 月間行事予定

一・十五日 六時 祝祷朝課

四・二十九日 月仏参

十八日 十三時 梅花講

二十四日 十四時 水子供養

二十八日 十四時 護摩会

(一月・十二月は右記参照)

日曜日 六時半 坐禅会

## みー子が行く④

みー子はお寺の猫です。生まれたばかりの小さな猫はチロンと名づけた。娘のフワワと合わせて3匹となりました。参拝に来られる方々にも可愛がれて、ますます人なつっこくなっている猫たちでした。

## テレホン法話

曹洞宗布教師の「心の法話」が電話で聞けます。近畿内 0120148740 近畿外 0753514443

## ご案内

お寺のホームページがあります。ぜひ、ご覧ください。  
<http://www.byodoji.com/>

## 三輪山裏

スリランカでは、悪魔払いというお祭りがあります。どうやら、孤独になった人に悪魔がつくそうです。

相手への慈愛と思いやりのある言葉は、自分の周囲のみならず自分の心も楽しくさせます。そして、自分と相手を孤独から救います。愛語の実践を心がけます。寒気が身をひきしめるこのごろです。どうぞ御身大切に。

編集子 孝仁 合掌